

# チョーライ病院向け病院運営・ 管理能力向上支援プロジェクト

2018年9月

## 第1回プロジェクトDOHA\*セミナーを開催

8月16日、チョーライ病院において、プロジェクトによる「感染制御・患者安全に関するDOHAセミナー」を開催しました。

本セミナーは、チョーライ病院によるDOHA活動の一環として、ベトナム南部の省レベル病院の管理職医師・看護師を対象として開催されました。参加者はチョーライ病院内からの出席者を含めて約150名となりました。

セミナーにはチョーライ病院 Nguyen Trung Son 院長および河上淳一 在ホーチミン日本国総領事にもご出席いただき、冒頭にそれぞれご挨拶をいただきました。

日本人専門家3名およびチョーライ病院の医師4名の計7名による、感染制御および患者安全に関する以下の内容の講義が行われ、活発な質疑応答が行われました。



Nguyen Trung Son 院長から開会の挨拶

\* DOHA (Direction of Healthcare Activities) : 上位病院が下位病院を指導・支援するしくみ。チョーライ病院が担当する対象病院は保健省により定められています。



小原博専門家(チーフアドバイザー)

### (1) 小原博専門家(チーフアドバイザー):「発展途上国における院内感染制御と患者安全対策の経験」

小原博専門家(チーフアドバイザー)は、かつてベトナム、ネパール、ミャンマー、モンゴル等にJICA専門家として派遣された経験から、感染管理能力の向上が医療サービスの質を確実に高める事を強調しました。

標準予防策、消毒・滅菌法、対策システムの構築は最も基本であり、院内感染対策は短期的に見るとコストがかかるように思えるが、長期的には病院の財政と患者の負担を軽減することになると指摘しました。

### (2) Dr. Le Thi Anh Thu(感染制御部長):「院内感染制御プログラムの効果的な実践法」

感染制御部長の Dr. Le Thi Anh Thu は、組織のシステムの構築、感染制御への積極的な参加の促進、感染制御の条件の確保およびモニタリングとフィードバック等々の実践法につき紹介しました。

また、感染制御の優れた実践は、入院日数の低減、抗菌薬使用の抑制ひいては治療費の削減につながる鍵であると強調しました。



Dr. Le Thi Anh Thu 感染制御部長

独立行政法人 国際協力機構(JICA)

チョーライ病院向け病院運営・管理能力向上支援プロジェクト

事務所: 10F, Block D, Cho Ray Hospital, 201B Nguyen Chi Thanh, District 5, Ho Chi Minh City, Viet Nam

Tel: 028 3620 5032 (直通) E-mail: chorayjica@gmail.com

ホームページ: <https://www.jica.go.jp/project/vietnam/044/>

(3) 黒須一見専門家(感染管理・看護管理):「チョーライ病院の院内感染対策におけるJICAプロジェクトの取り組み」

黒須専門家からは、チョーライ病院における感染制御の意識およびモニタリング機能は、各種の研修・セミナーの実施を通して確実に向上していることが紹介されました。

また、感染制御部とその他の部門・科との効果的な連携が非常に重要であることを指摘しました。

現在、プロジェクトでは、手指衛生遵守率の向上、人工呼吸器関連肺炎(VAP)、手術部位感染(SSI)および抗菌薬適正使用プログラム等に重点を置いています。



黒須一見専門家(感染管理・看護管理)



Dr. Phung Manh Thang 感染制御部副部長

(4) Dr. Phung Manh Thang(感染制御部副部長):「院内感染の現状と今後の院内感染サーベイランスの取り組み」

感染制御部副部長の Dr. Phung Manh Thang は、チョーライ病院における院内感染率は他の先進国の病院に比べて非常に高く、院内感染のうち人工呼吸器関連肺炎の割合が最も高いことに言及し、この問題の解決のためにチョーライ病院では新たなモニタリング手法を取り入れていることが紹介されました。

院内感染のモニタリング能力の向上のためには、情報技術(IT)の導入が必要であり、モニタリングの結果は効果的な解決法の策定のために必ず分析されなければならないと強調しました。

(5) Dr. Ton Thanh Tra(クオリティ・マネジメント部長):「チョーライ病院における患者安全の取り組み」

クオリティ・マネジメント部長の Dr. Ton Thanh Tra は、多くの重大な医療事故が近年ベトナムにおいて発生していることを指摘し、この状況を改善するためには、患者安全について、すべての医療従事者ととりわけ指導者が責任をもって行動しなければならないことを強調しました。

クオリティ・マネジメント部では、現在、研修の実施や手続きの策定、モニタリングの強化等を通じて、患者安全活動の改善に取り組んでいます。



Dr, Ton Thanh Tra クオリティ・マネジメント部長



森山潤専門家(医療安全・看護管理)

(6) 森山潤専門家(医療安全・看護管理):「チョーライ病院における患者安全強化に向けたJICAプロジェクトの取り組み」

森山専門家より、プロジェクトではチョーライ病院に対し、患者安全に関して主に、①患者安全担当者養成、②多職種連携によるチーム医療、③クリニカル・パスの開発と運用の3つの分野において協力していることが紹介されました。

森山専門家は、プロジェクトを実施する上で、病院幹部の理解と協力が重要不可欠であることを強調しました。

(7) Dr. Le Quoc Hung(熱帯病科長):「熱帯病科における患者安全の取り組み」

熱帯病科長の Dr. Le Quoc Hung は、昨年の訪日研修の参加者の一人として、そこで得た知識と経験を熱帯病科における患者安全活動に応用していることを紹介しました。熱帯病科では、抗菌薬適正使用、患者確認手順、5S活動などを積極的に行っています。

また、患者安全に関するアクションプラン策定のため、呼吸器サポートチーム(RST)等とは常に議論していることも紹介されました。



Dr. Le Quoc Hung 熱帯病科長